株主の皆さまへ

BUSINESS REPORT

報告書 第69期［中間期］ 平成25年4月1日～平成25年9月30日

CONTENTS

TOP MESSAGE …… 01
業績のご報告 …… 03
特集 …… 05
　サンメッセの営業戦略 … 05
　サンメッセのIR/CSR …… 07
TOPICS …… 09
財務諸表 …… 11
株式の情報 …… 13
会社の概況 …… 14
株主メモ …… 14

サンメッセ株式会社

Sun Messe

常に“先取の精神”で企業としての持続的

代表取締役社長　田中義一

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第69期上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

日本経済は、政府の経済政策に対する期待感や金融緩和策により回復基調にあるものの、依然として不透明な状況が続いております。印刷業界におきましても、ペーパーレス化に伴う需要減少、同業者間での競争激化、さらに原材料費の値上げも予想されるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような環境下における上半期の業績は、売上高69億92百万円（前年同期比1.4％増）、営業損失56百万円（前年同期は営業損失1億48百万円）、経常利益1百万円（前年同期は経常損失96百万円）、四半期純損失17百万円（前年同期は四半期純損失86百万円）となりました。前年同期に対して売上高、経常利益は増加した

新たな事業領域に挑戦。な成長に取り組んでまいります。

ものの、営業利益、四半期純利益については改善はされていますが、依然としてマイナス計上の結果になりました。

印刷業界は下半期に業績を押し上げる傾向がありますが、通期における増収増益、黒字化に向けて全力で、売上増加、利益改善に鋭意努力してまいります。

常に変化・変革し、新しいことへ果敢にチャレンジすることが、企業の持続的な成長に繋がると考えます。今期も具体的な戦略・目標を掲げ、パッケージ事業、IPS事業など、新しいことに挑戦しておりますが、上半期を終えて成果も見えてきました。下半期は少しでも早く軌道に乗せ成果を出せるように、社員一丸となって取り組んでまいります。

お陰様で、当社にとって初の株主優待を実施させていただきました。

全ての株主様のご満足をいただける訳ではございませんが、ありがたいことに相応の反響もいただきました。これは、当社に対する期待の表れであると考え、今後もこれまで以上に株主の皆様に対する施策を推進させていただく所存でございます。

そのためには、しっかりとした業績を積み上げて、利益を出すことではじめて多くの株主の皆様にご満足をいただけるパフォーマンスを得ることができると考えております。

今後とも、皆様のご期待にお応えできるように、社員全員で取り組んでまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

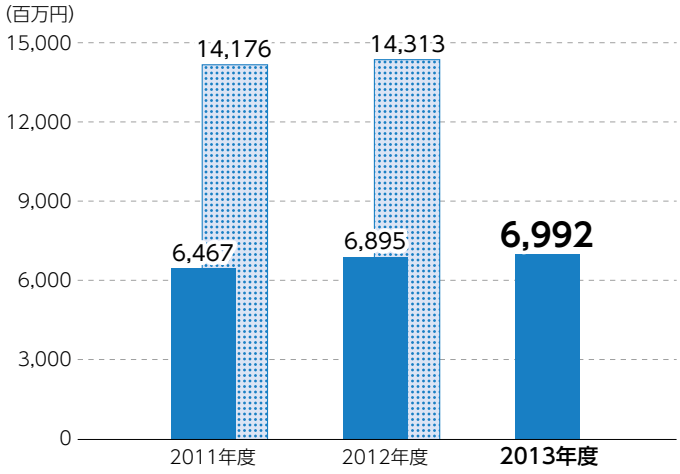
上半期　通期

売上高

up **1.4%増**

前年度比 **+97百万円**

取扱説明書などの出版印刷物は減収となりましたが、カタログやダイレクトメールなどの一般商業印刷物は増収となり、全体でも増収となりました。

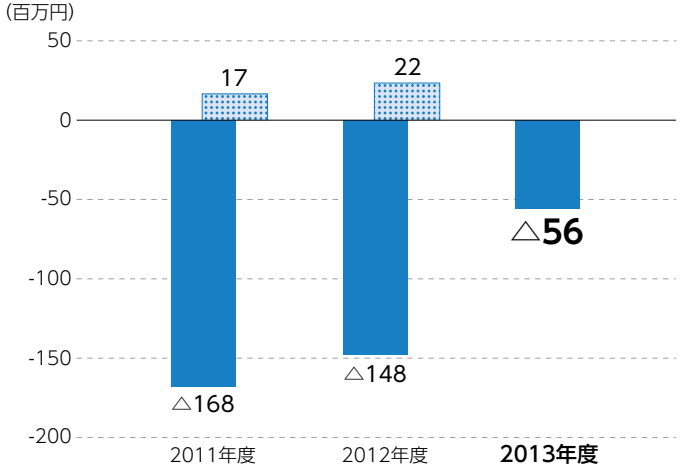


営業利益

up **—**

前年度比 **+91百万円**

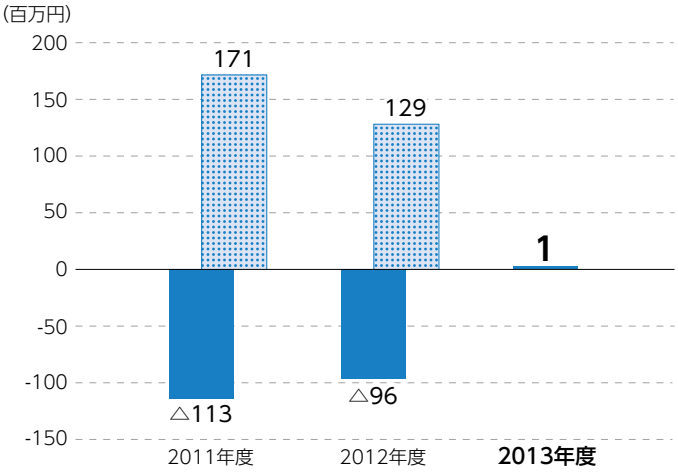
売上高が増収となったことや費用の減少などにより、売上総利益が増益となったため、損失が減少しました。



経常利益

前年度比 **+97百万円**

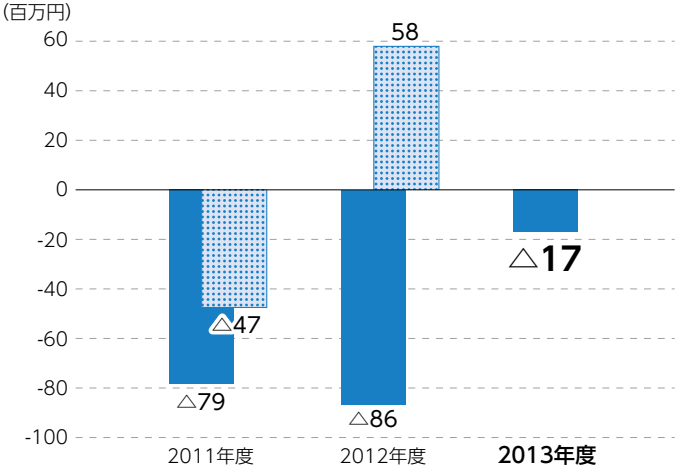
売上高が増収となったことや費用の減少などにより、売上総利益が増益となったため、損失を解消することができました。



当期純利益

前年度比 **+69百万円**

投資有価証券評価損による特別損失が減少したことなどにより、損失が減少しました。



取締役執行役員 営業副本部長
兼 ソリューション経営部門統括部長
兼 営業開発部長
水谷 和則

3つの戦略、3つの新事業を推進。“印刷を核に”持続的な成長を図っていきます。

今期の営業戦略についてお聞かせください。

今年度は3つの柱を立て推進しております。1つ目は「全方位型営業」の展開です。当社は、一般商業印刷はもちろんのこと、ビジネスフォーム印刷、パッケージ印刷など、さまざまな印刷を自社で対応できる総合印刷会社です。さらにイベントやWEB、映像といったメディアも取り扱っております。このような当社の大きな強みである総合力を生かし、お客様にメリットを感じていただける営業展開をしております。

2つ目は、「組織力の強化」「マネジメント力の強化」への取り組みです。特に組織の最小単位である「課」単位での組織力強化に注力。その上で最前線を牽引する次長、課長クラスのマネジメント力の強化が重要と考え、方法論の教育はもとより、具体的な目標設定や数値による分析・管理を実践教育しております。強い集団をつくり、強いリーダーを育てることが、会社組織の強化に結びつくものと考えております。

3つ目は、今年度の会社方針でもある「人材育成」です。当社では日々の業務に直結する実践的な教育プログラムで、従業員の自主性を喚起させることを重視した人材教育を行っております。

業務における疑問や課題などを社内調査し、例えば、見積・積算の教育、新事業に関する社内説明会、営業トークのノウハウ講習など、調査結果を基にしたプログラムを実践しております。また、社内共有を目的とした全営業マン対象のWEB会議を行い、情報格差を生まない取り組みもしております。

これらの成果は、しっかり数字として表れることが重要だと考えておりますが、半期を終えて手ごたえは十分感じております。

新たな事業展開についてお聞かせください。

当社は現在「パッケージ」「IPS※1」「IR※2/CSR※3」の3つの新しい事業を進めております。

●パッケージ事業

ここ数年、印刷市場は全体的には縮小傾向なのですが、その中でパッケージ分野の市場は減少しておりません。長期的に見ても比較的安定したジャンルの印刷物といえ、十分チャレンジする価値のある事業だと考

えております。現在、専門のプロジェクトチームを編成してお菓子メーカーなど、今まで当社のお客様としてお取引の無かった分野の新規開拓に邁進しております。少しずつ成果が見えてきましたので、今後期待していただきたい事業の一つです。本社を置く中部エリアでは、分業化した専業業者が多いこともあり、企画、デザイン、印刷、加工の全てを一社内で完結できることは、当社の大きな強みだと考えております。

●IPS事業

お客様の個人情報を含む印刷物は以前より取り組んできたジャンルのものであり、例えばDMなど、月産100万通を超える案件の受注もいただいております。このジャンルの印刷物は、情報加工という付加価値を付けることで競合他社と差別化を図り、価格競争などを回避できる安定性、収益性の高い印刷分野であることから、7月に最新の設備機器を導入し生産体制を増強いたしました。この設備を活用して、バリアブル印刷の受注拡大を図りたいと考えております。

●IR/CSR事業

IR関連では上場企業の事業報告書、株主招集通知、アニュアルレポートなど、CSR関連では環境報告書やCSRレポートといった印刷物について、以前はデザインからの受注がほとんどでした。2年前よりこれらのツールについて業務を拡大してまいりましたが、今年の8月に専門部署を立ち上げ、コンサルティング業務、高い精度を求められるコンテンツ作成といった専門性の高いサービスのご提供を正式にスタートいたしました。この分野については、お客様の多くが上場企業であることから、将来性のある事業の一つだと考えております。

このように、さまざまな新しい事業を展開しておりますが、当社の強みは“一社責任体制”で対応できるところにあります。総合力のある社内一貫生産で、すべて当社が責任を持ち、サービスをご提供できることだと考えております。

今後のビジョンについてお聞かせください。

短期的には、売上強化のための「全方位型営業」の展開、そして強靱な企業体質を創り上げることを目的とした「組織力・マネジメント力の強化」と「人材育成」を推進し、具体的な成果を上げることが重要だと考えております。

さらに中・長期的には、印刷のビジネススタイルを変えていきたいと思っております。印刷物はオーダーメイド的な製品ということもあり、昔から請負受注の受動的な見積りをしていました。しかし競合他社との価格競争の激化、印刷通販の台頭など現在の市場環境下では、今までのような成長は難しいと思っております。例えば、お客様にマーケティングからアプローチするような、能動的な営業スタイルを確立するなど、次の5年、10年先に向けての印刷を核にした“情報産業”としてのビジネスモデルを創り上げたいと考えております。

※1 Information Processing Service
企業の重要情報や個人情報など、一点一点内容を変えて印刷するサービス

※2 Investor Relations
企業が投資家に向けて経営状況や財務状況、業績動向に関する情報を発信する活動

※3 Corporate Social Responsibility
企業の社会的責任

執行役員 管理本部長
兼 総務部長　衣斐 輝臣

地域とともに成長、発展を遂げることで、これからも社会に貢献できる企業でありたいと考えております。

CSRの基本方針についてお聞かせください。

当社は創業当初より、地域社会と連携して成長してまいりました。特に本社を置く岐阜県大垣市や周辺地域の経済界とのつながりは非常に大きく、これからも地域と強いパイプでつながっていかなければならないという使命感がございます。

【サンメッセCSR方針】
お客様や地域から愛され、
信頼される製品づくりを通して、
持続可能な社会の実現に貢献します。

企業活動において、地域貢献、環境配慮というキーワードを外すことはできません。ご協力いただいて、ご支援していただいて、会社も成長していくものと考えております。印刷という業種は情報を伝える仕事です。そういった意味からすれば、我々からも地域へ発信していくことができるメリットを享受いただける業種であり、ゆえにその使命は大きいと捉えております。地域と結びつき、地域とともに発展していくという姿勢は、CSRという言葉が生まれる前から続けていたことであり、当社のDNAの一つです。

「戦略的CSR」を経営の軸の一つに置いておりますが、具体的にどんなことに取り組んでいますか?

「戦略的CSR」というと、とても広範囲になりますが、さまざまな取り組みの中でも、特に社内の人材育成に注力しております。『人は宝、企業は人なり』という言葉がありますが、「人を育てること」を企業経営の重要ポイントと捉え、今年度は、約80項目におよぶ研修プログラムを実行しております。あくまでも社員一人ひとりの自主性を重んじ、会社としては成長する機会、場を提供するというスタンスです。継続的に実施してきたことで、多くの社員に自主性や積極性が生まれ、少しずつではありますが効果が表れてきていると感じております。こういった風潮を研修だけで終わらせないためにどうしたらよいか、さらに継続していくためにはどうしたらよいか、それが今後の課題だと考えております。

今年、当社初の女性管理職が誕生しましたが。

当社の女性社員の能力は高く、業務においても非常に優秀です。管理職に昇進した2名の女性社員には、ぜひモデルケースになっていただきたいと思っています。会社としても、子育てを行う社員の仕事と家庭生活の両立を支援し、安心して働ける職場環境の整備を図っていきたいと考えております。また、女性が活躍できる職域の拡大と役職への登用も、今後積極的に推進したいと考えております。

将来的なビジョンについて教えてください。

楽しい中にも厳しさがある会社。そんな企業風土を醸成したいと考えております。地域にはお手本となる企業がたくさんありますので、連携を取らせていただき、継続的に実践していきたいです。そして80年近い歴史ある当社を、その先の100年にも向けてより良い会社にしていきたいと思っております。

今期、初の統合レポートをリリースされた背景についてお聞かせください。

有価証券報告書、決算短信などの財務データだけでなく、企業そのものの将来性やビジョンを投資家が判断できる「統合報告」が国際的な潮流となっています。

既に日本国内において、著名企業が着手していますが、この中で「統合思考」と呼ばれるモノが当社にはフィットすると考え、IR/CSR企画推進室が中心となって制作いたしました。

当社には、優秀な人材とそれに対応する設備投資をしっかり行ってきたことから、お客様の多種多様なご要望に対応できる体力がございます。

反面、印刷業界は今や経営環境の激変の一途にあり、その中で、新たなビジネスモデルを模索する中、当社の豊富な人材をフル活用し、知恵を絞りながら将来に向けてステップアップするには、この統合レポート発行を行うことで、サンメッセをより多くの方々に知っていただける機会になると考えました。本来であれば、投資家向けのレポートなのですが、まずは社員や、そのご家族にもよく知っていただくことも肝要かと考えております。是非とも株主の皆様にもお読みいただきたいと思います。

反応はいかがでしょうか?

お陰様で、リリース当初からあらゆる方面からのお問い合わせをいただいております。残念ながら当社は、首都圏における知名度がまだまだ乏しい状況です。

今回のレポートを発行したことにより、これまでと異なる方面からのご連絡をいただけるようになったことは、ファーストステップとしては良かったと思います。ただ、まだ内容的には初歩段階ですので、これからより良いご報告を行えるよう、経営と一丸になって当社業績向上に邁進したいと思います。

IPS部門に新型プリンターを導入

平成25年7月15日、IPS部門に「フルカラー連続紙インクジェットプリンター」を導入しました。本機は、近年増加傾向のある大ロット案件、主に可変印刷を必要とする個人情報を含む受注案件に広く対応すべく新規導入したものです。

連続紙を使用して、毎分A4サイズ両面1,312ページという世界最高水準の出力速度を誇り、膨大な可変印刷へのスピーディーな対応が可能になりました。また、同時に導入した線糊製本システムをはじめとする製本機や、封入機との組み合わせにより、より多彩な印刷加工が見込めます。

本機導入に伴い、IPS部も本社第1新工場から第5工場へと移転し、セキュリティを一層強化。お客様の大切な情報をワンフロアでシームレスに取り扱う環境が整いました。

セキュリティも一層強化

新しく導入された富士ゼロックス2800IJ

当社ホームページをリニューアルしました

平成25年7月24日、当社ホームページを全面リニューアルしました。製品・サービスの情報から、先端技術に関するソリューション情報、企業情報、IR・CSR情報など、掲載情報を整理し直し、内容の充実を図りながらも、さらに見やすく、読みやすくしました。

今後も当ホームページを通して、最新情報や、お客様に有用な情報をリアルタイムで発信してまいります。

「サンメッセ情報技術展示会2013」を開催

平成25年7月25日・26日の2日間、本社にて「サンメッセ情報技術展示会2013」を開催しました。本展示会は、お客様に当社の最先端ICT※ 技術に直に触れていただく場として毎年開催しているものです。

今年のテーマは「It's a good practice!」。プレゼンテーションや実演を交えながら、カタログやチラシ制作の効率化を可能にする支援システム、今年7月に大幅リニューアルをしたIPS部門関連、その他、パッケージやデジタルメディア、環境印刷など、単なる印刷の範囲にとどまらない当社の最新技術をアピールいたしました。

※ICT…Information and Communication Technology（情報通信技術）

展示会内容を分かりやすく紹介した案内パンフレット

内覧会では従業員も最新技術を体験

当社主催「経営戦略セミナー 2013」を開催

平成25年9月25日名古屋市内にて、翌26日岐阜市内にて、当社主催の「サンメッセ経営戦略セミナー2013」を開催しました。このセミナーは、企業の経営層をはじめ、広報、IR、CSR、財務、総務などに携わる方々へ情報提供させていただき、お客様の業務拡大にお役立ていただこうと企画し、昨年より開催しているものです。

名古屋では、NPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事の岸田眞代氏の基調講演、また当社IR/CSR企画推進室長 兼 IR/CSRコンサルタントの田中信康より、統合報告の概要と国内企業の動向について解説させていただきました。

岐阜では、(株)カスタネット社長の植木力氏の基調講演、また、田中より戦略的CSRを社内で推進するにあたって重視すべき点などについて解説させていただきました。

統合報告書について解説

地域住民の皆様と社員家族向けの工場見学会を開催

平成25年8月22日、本社工場にて、周辺の地域住民の皆様や社員家族、当社OBを対象とした工場見学会を開催しました。これは、日頃から当社事業についてご理解をいただいている皆様に対し、業務内容をより深く理解していただこうと毎年企画しているものです。

当日は約40名の皆様にご参加いただき、副会長の田中勝英からのあいさつに続き、製造本部長の伊東覚より印刷の仕組みと本社工場についてご説明させていただきました。また、製造現場の実際をご覧いただくため、プリプレス課、印刷課、製本課と、印刷物の一連の製造工程をご覧いただきました。最後に、UVパッケージ部を見学、個人情報を扱うIPS部については、室外にて解説をさせていただき、当社の新たな取り組みも含め、一層のご理解を深めていただく機会となりました。

当社ではこの他、地域の中学校や高校、特別支援学校等からの要請に応じ、随時、職業体験や工場見学会も積極的に実施しており、地域の皆様に貢献する活動を推進しています。

当社初となる「統合報告書」を発行

平成25年9月、当社で初となる「統合報告書」を発行しました。本報告書は、これまでの「社会・環境報告書」における環境情報やCSR情報等の非財務情報に、財務情報を統合し、さらに、新たなコンテンツを加えたものです。

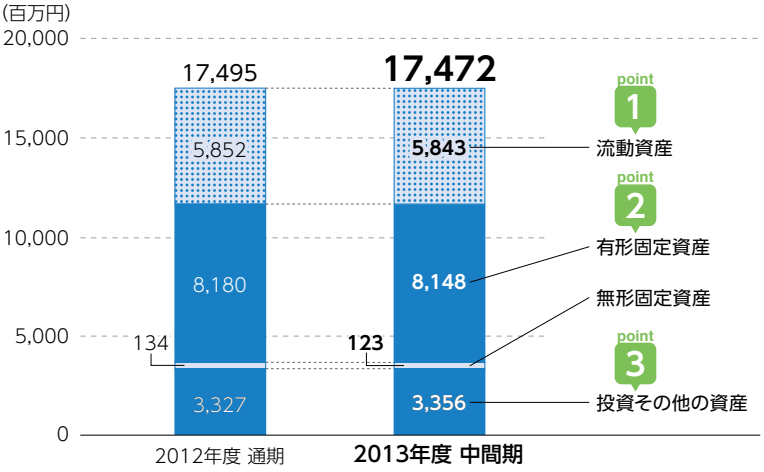
統合報告書は、国際的な流れとして最先端の取り組みとして注目され、岐阜県下の上場企業としては当社が初の発行となりました。当社では、印刷のみならず、各種ガイドラインへの準拠、企画立案、ライティング業務、デザイン、コンテンツ制作、IR/CSRコンサルティングなど、社内一貫体制で制作をサポートできる体制を整えており、情報管理や情報漏洩の防止策の一環としてもお客様からのご評価をいただいております。

今後は、本統合報告書の制作を足がかりとし、当社で蓄えたノウハウを生かしながら、お客様に対するIR/CSRコンサルティング業務への積極的な展開を図ってまいります。

貸借対照表

2012年度:3月31日現在, 2013年度:9月30日現在

資産の部



point 1 流動資産

受取手形及び売掛金や有価証券の減少などにより減少しました。

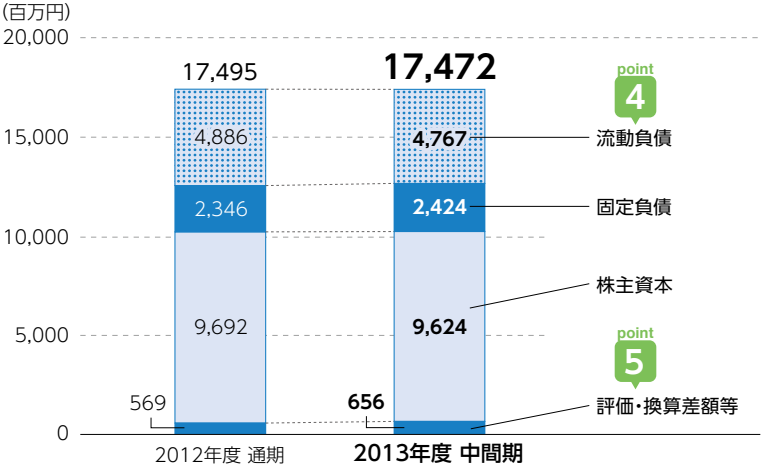
point 2 有形固定資産

機械及び装置が増加しましたが、前年度末において計上した建設仮勘定が振替えられたことなどにより減少しました。

point 3 投資その他の資産

投資有価証券の増加などにより増加しました。

負債・純資産の部



point 4 流動負債

支払手形及び買掛金や1年内返済予定の長期借入金の減少などにより減少しました。

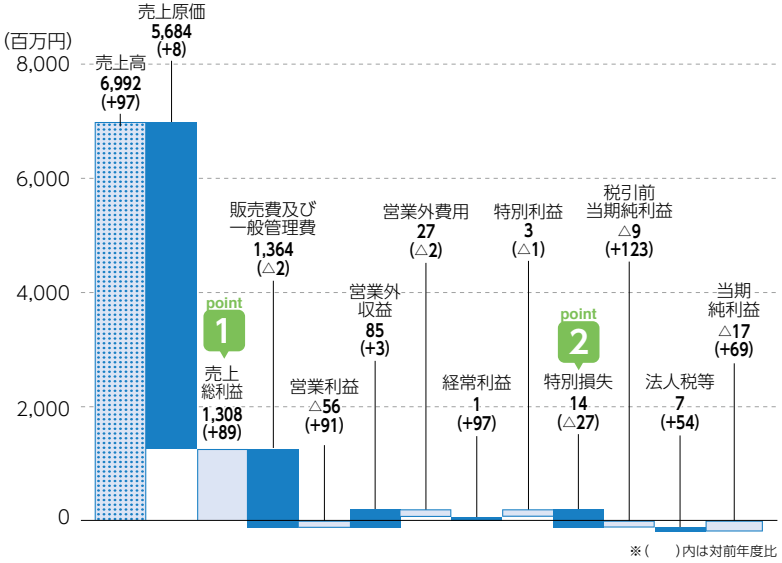
point 5 評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金の増加により増加しました。

※株主資本と評価・換算差額等を合わせて純資産となります。

損益計算書

2013年4月1日～2013年9月30日



point 1 売上総利益

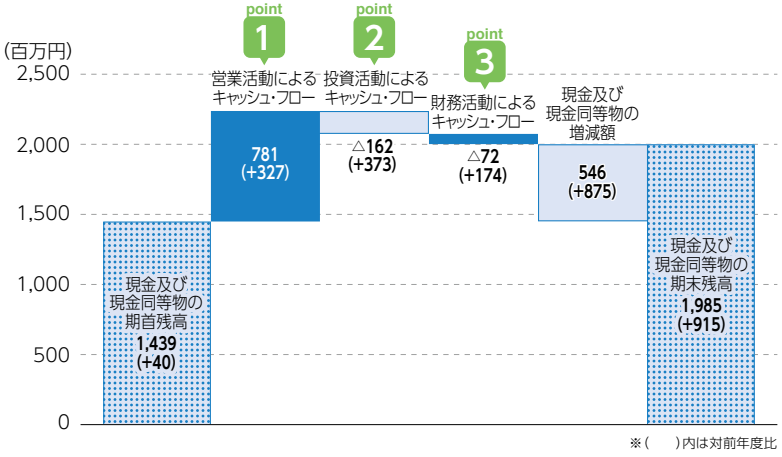
売上高が増加したことや費用が減少したことにより増加しました。

point 2 特別損失

投資有価証券評価損の減少などにより減少しました。

キャッシュ・フロー計算書

2013年4月1日～2013年9月30日



point 1 営業活動によるキャッシュ・フロー

原材料費の支払額などが減少したため、得られた資金が増加しました。

point 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却や償還が増加したため、使用した資金が減少しました。

point 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金などが増加したため、使用した資金が減少しました。

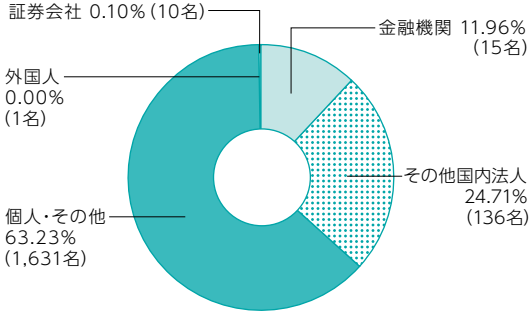
株式の情報

株式の状況（平成25年9月30日現在）

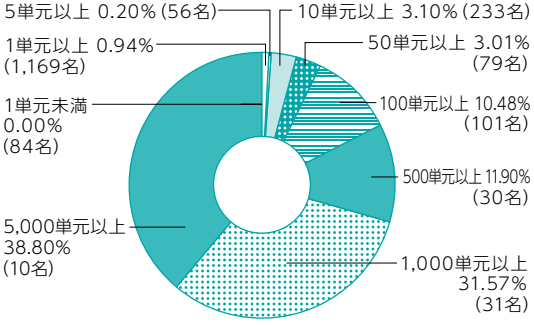
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	17,825,050株
株主数	1,793名

株式分布状況

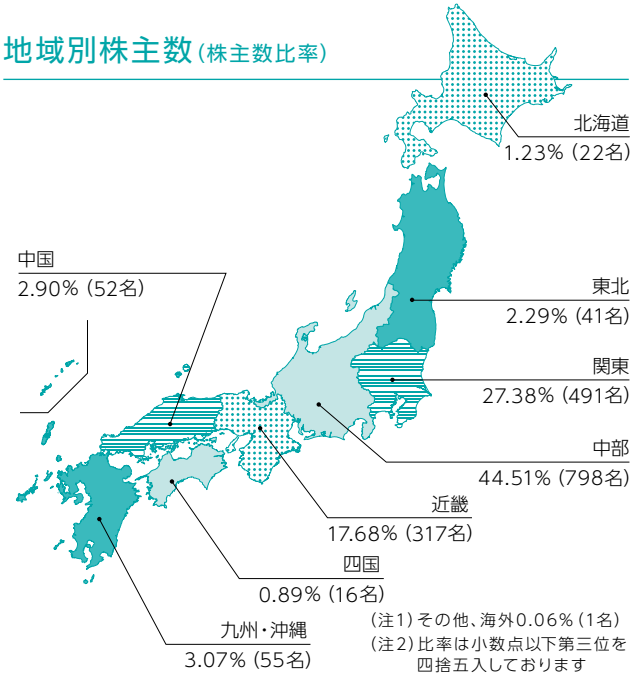
所有者別株式分布状況（株式数比率）



所有数別株式分布状況（株式数比率）

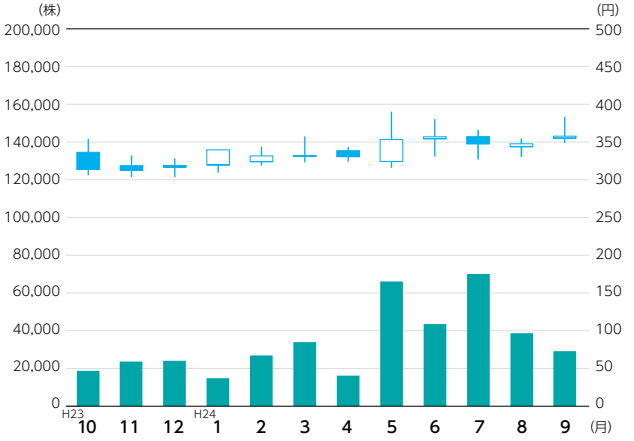


地域別株主数（株主数比率）



（注1）その他、海外0.06%（1名）
（注2）比率は小数点以下第三位を四捨五入しております

株価推移



会社の概況

会社概要（平成25年9月30日現在）

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	734名（他社への出向者、嘱託、パートは含まれておりません。）

主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封函を行うDPS（デジタルプリントサービス）やPOD（プリントオンデマンド）を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

役員（平成25年9月30日現在）

取締役会長	※田中 良幸	
取締役副会長	※田中 勝英	
取締役社長	※田中 義一	
取締役	松井 巌	常務執行役員営業本部長
取締役	田中 尚一郎	常務執行役員営業副本部長 兼 関東統括部長 兼 C&R部長
取締役	木村 伸男	執行役員監査室長
取締役	長井 芳郎	執行役員営業副本部長 兼 愛知統括部長
取締役	水谷 和則	執行役員営業副本部長 兼 ソリューション経営部門統括部長 兼 営業開発部長
取締役	今井 稔	執行役員購買本部長 兼 購買部長
取締役	竹林 啓路	執行役員品質保証室長
取締役	伊東 覚	執行役員製造本部長
常勤監査役	長屋 英機	
監査役	伊藤 暁	
監査役	石岡 秀夫	税理士

※は、代表取締役であります。

本社および事業所（平成25年9月30日現在）

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店（東京都江東区）
	大阪支店（大阪市中央区）
	名古屋支店（名古屋市中区）
	愛岐支店（愛知県一宮市）
	岐阜支店（岐阜県岐阜市）
営業所	津営業所（三重県津市）
	滋賀営業所（滋賀県彦根市）
	京都営業所（京都市下京区）
	岡崎営業所（愛知県岡崎市）
研究所	サンメッセ情報館（岐阜県大垣市）
工場	本社工場（大垣市）・中工場（大垣市）・西工場（大垣市）
系列会社	日本イベント企画株式会社（岐阜県岐阜市）
	サンメッセ タイランド株式会社（タイ王国バンコック市）

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日（議決権行使株主確定日）
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス http://www.sunmesse.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

［お知らせ］

■ 株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続（住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など）のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■ 配当金のお受け取り方法について

配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■ 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
IR情報（投資家様向け情報）にも、ダイレクトにアクセスいただけますので、こちらもどうぞご利用下さい。

IR情報サイト
http://www.sunmesse.co.jp/ir/

株主優待について

本年から毎年3月末日現在の当社株主名簿に、記載または記録された100株以上保有の株主様を対象に、年1回一律1,000円分のクオカードを贈呈しています。

本年6月に贈呈いたしました
当社オリジナルクオカード

※毎年6月に送付いたします年次報告書に同封を予定しています。

人・物・情報を集積・発信　印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社

Sun Messe

ISO 14001
JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場

プライバシーだいせつにします
19000127

UD FONT

1部あたり
280g
CO_2
CO_2の「見える化」
カーボンフットプリント
http://www.cfp-japan.jp
CR-DD01-13004
CFP値は水なし印刷の算定に特化したCFP-PCRにより算定

FSC
ミックス紙
FSC® C014969

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮した植物油インキを使用しています。

Waterless Printing Naturally
環境にやさしい水なし平版印刷を採用しています。